

令和8年6月

高岡市民アンケート調査 報告書 概要版

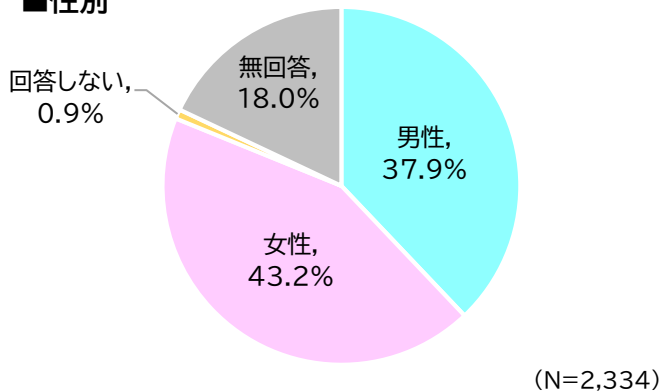
高岡市では現在、令和9年度を始期とする新たな総合計画の策定に取り組んでおります。この調査は、市民の皆様の市政全般に対する満足度等を把握するとともに、市の取組への関心や期待、ご意見等をお伺いし、今後必要とされる施策や事業等を検討するための基礎資料とすることを目的に実施いたしました。調査結果の概要を次のとおりお知らせいたします。ご協力いただきありがとうございました。

- ◆調査対象：高岡市に住民票がある18歳以上の方、5,000人
- ◆調査期間：令和8年1月21日～2月10日
- ◆回答者数：2,334人（回収率46.7%）

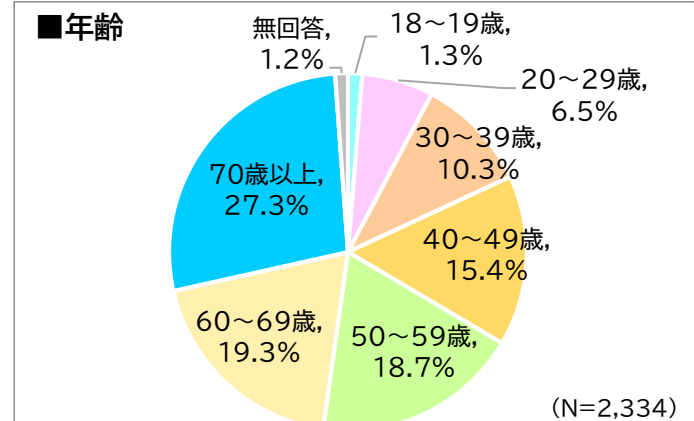
高岡市 市長政策部 チェンジ推進課

回答いただいた方の内訳

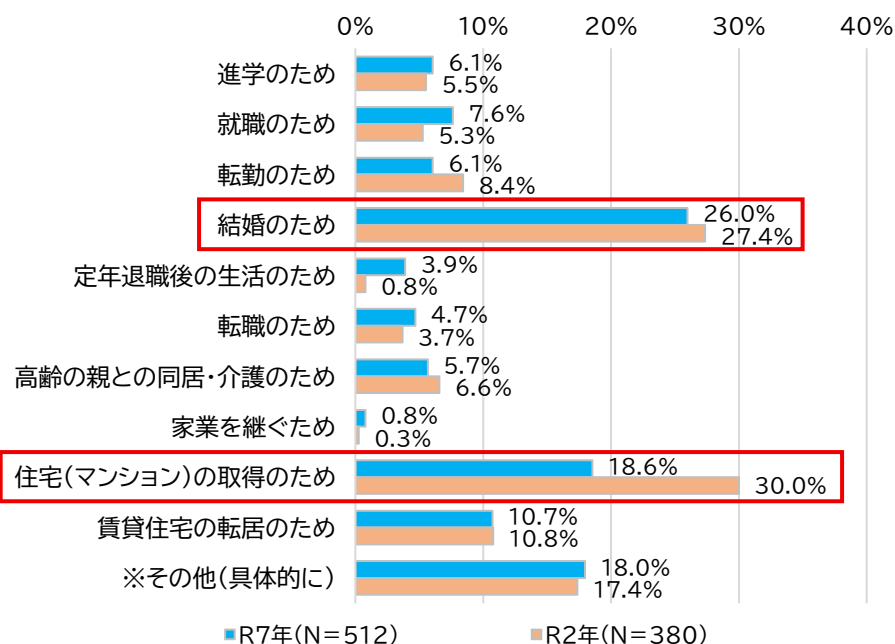
■性別



■年齢



■現住所に居住したきっかけ（現住所地に住んで10年未満の方）

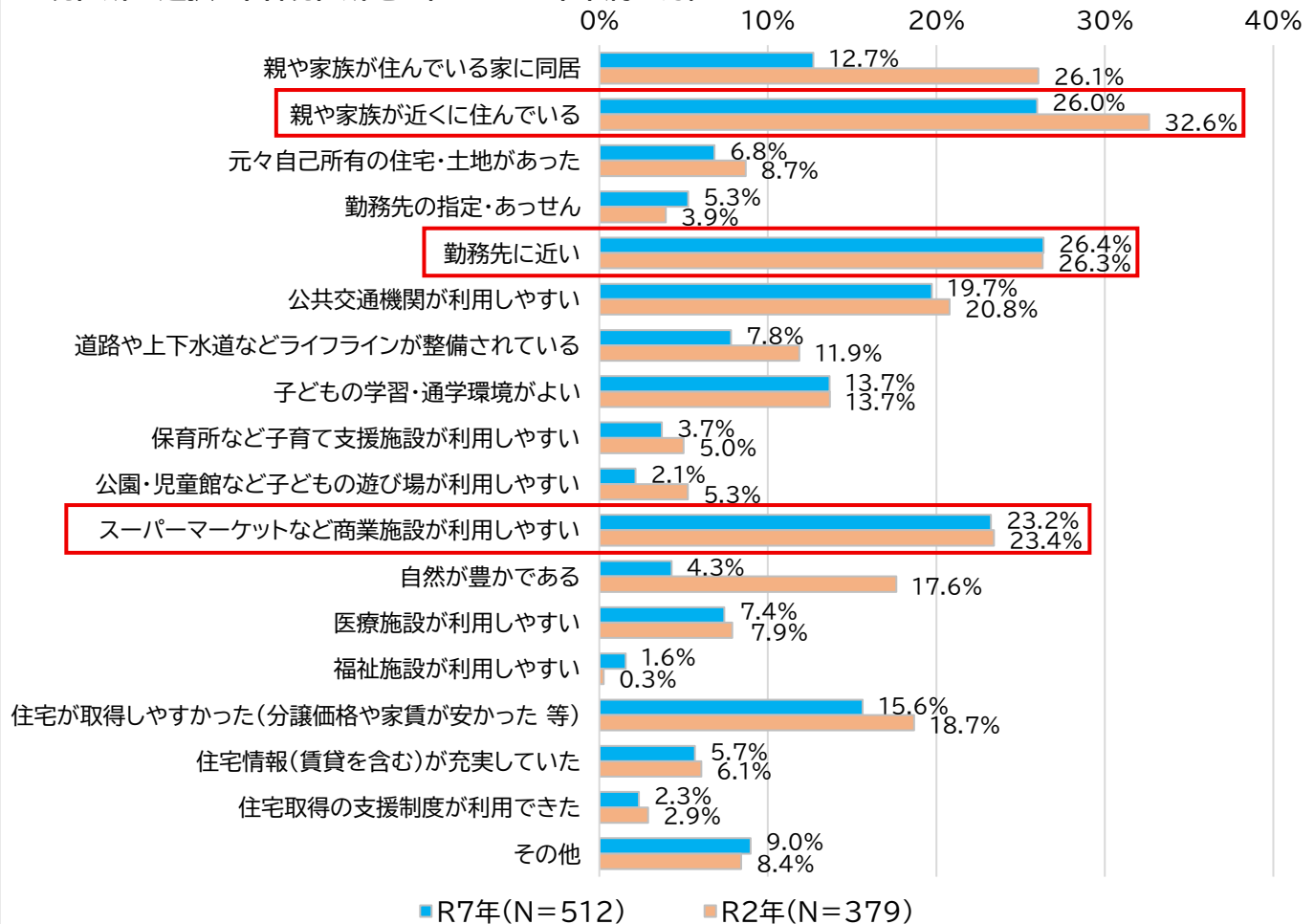


●高岡市での居住年数が10年未満の方の転居のきっかけは、「結婚のため」が26.0%と最も多く、次いで、「住宅（マンション）の取得のため」が18.6%でした。

●R2年度調査結果と比較すると、「住宅（マンション）の取得のため」が11.4ポイント減少（30.0%⇒18.6%）しました。

- ・各設問の回答割合(%)は、回答者数(N)を母数としています。回答割合(%)の合計は、回答できる数や端数処理によって、100%にならない場合があります。
- ・前回調査（令和2年10月実施・調査対象5,000人／回答者数N=2,280人）と比較できる設問のみ、前回調査の結果をあわせて表示しています。

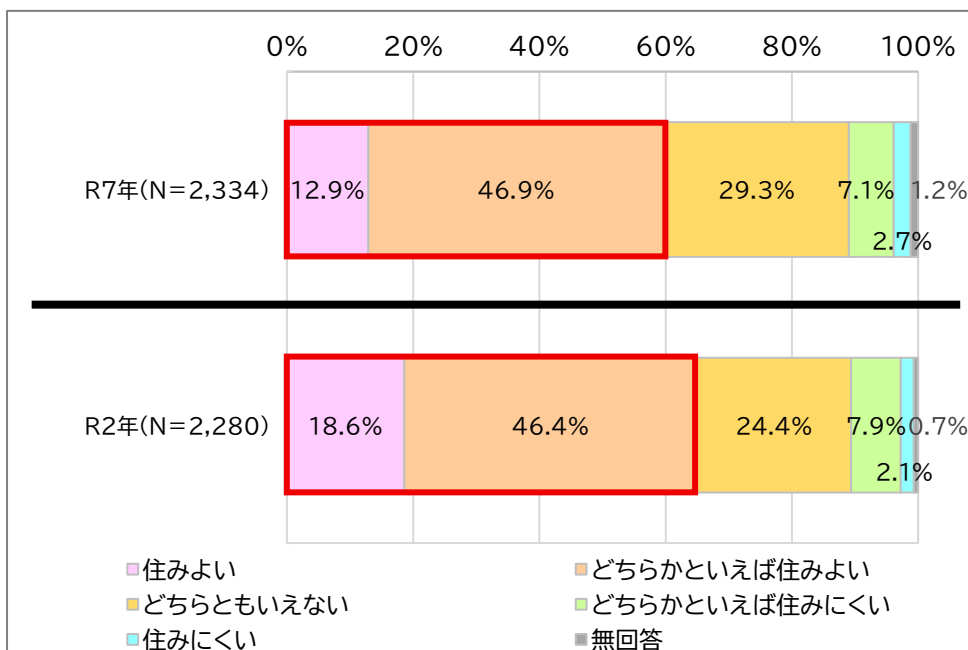
■現住所の選択理由(現住所地に住んで10年未満の方)



●高岡市での居住年数が10年未満の方が現住所地を選択された理由は、「勤務先に近い」が26.4%と最も多く、次いで、「親や家族が近くに住んでいる」が26.0%、「スーパーマーケットなど商業施設が利用しやすい」が23.2%でした。

●R2年度調査結果と比較すると、「親や家族が住んでいる家に同居」、「自然が豊かである」が10ポイント以上減少しました。

1 高岡市の住みよさ

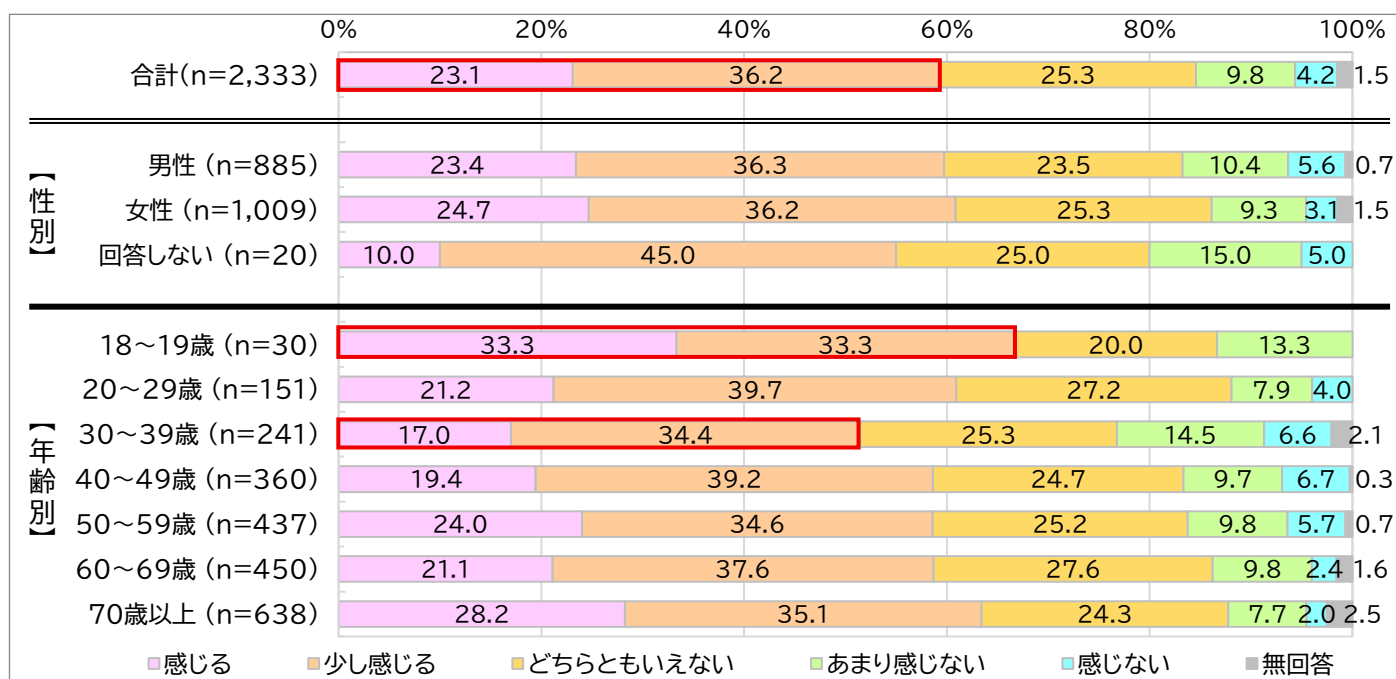


●高岡市の住みよさについては、「住みよい」または「どちらかといえば住みよい」が59.8%でした。

●R2年度調査結果と比較すると、「住みよい」または「どちらかといえば住みよい」と回答している人の割合は、R2年度よりも5.2ポイント減少(65.0%⇒59.8%)しました。

2

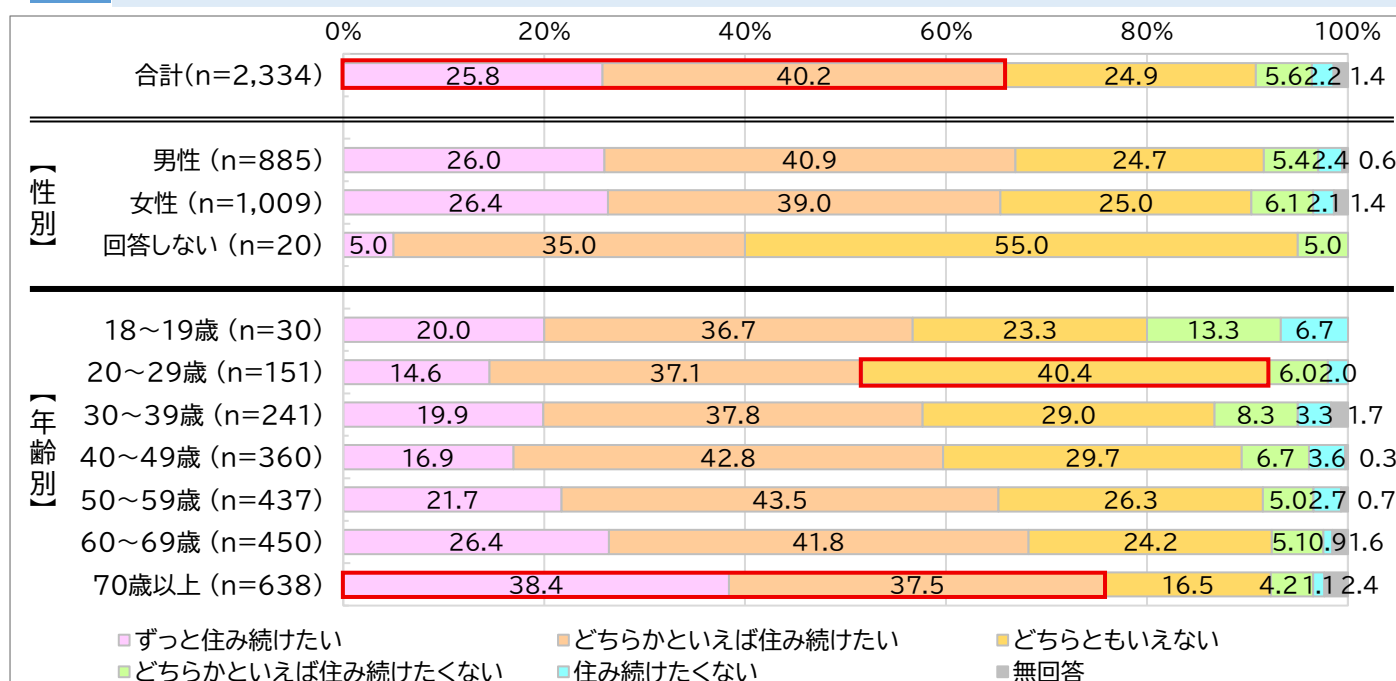
高岡市への愛着や誇り



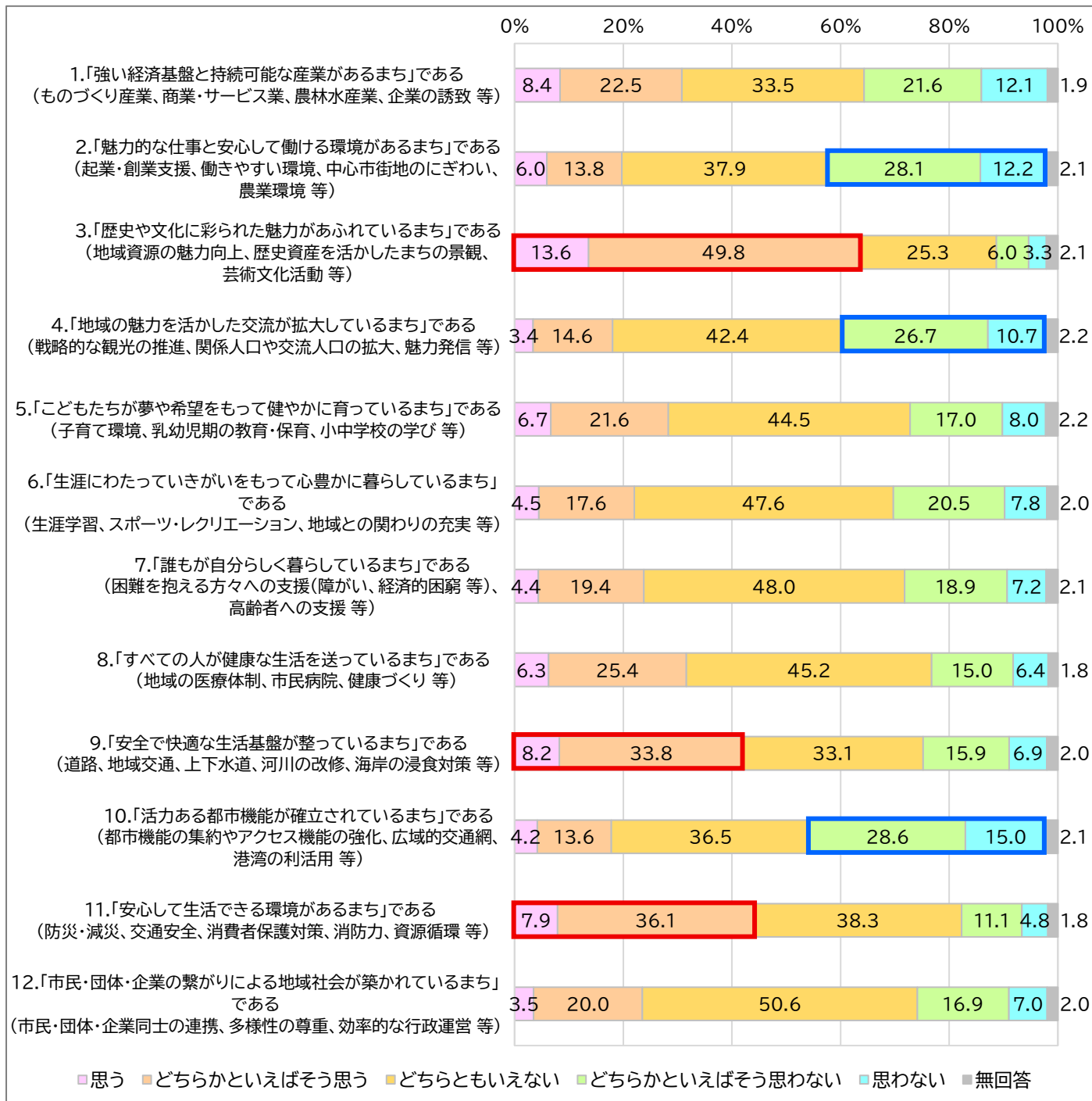
- 高岡市に愛着や誇りを感じるかについては、「感じる」または「少し感じる」が59.3%でした。
- 年齢別にみると、「感じる」または「少し感じる」は、18~19歳が66.6%と全体の傾向と比べて多く、30代が51.4%と全体の傾向と比べて少なくなっています。

3

高岡市での継続居住意向



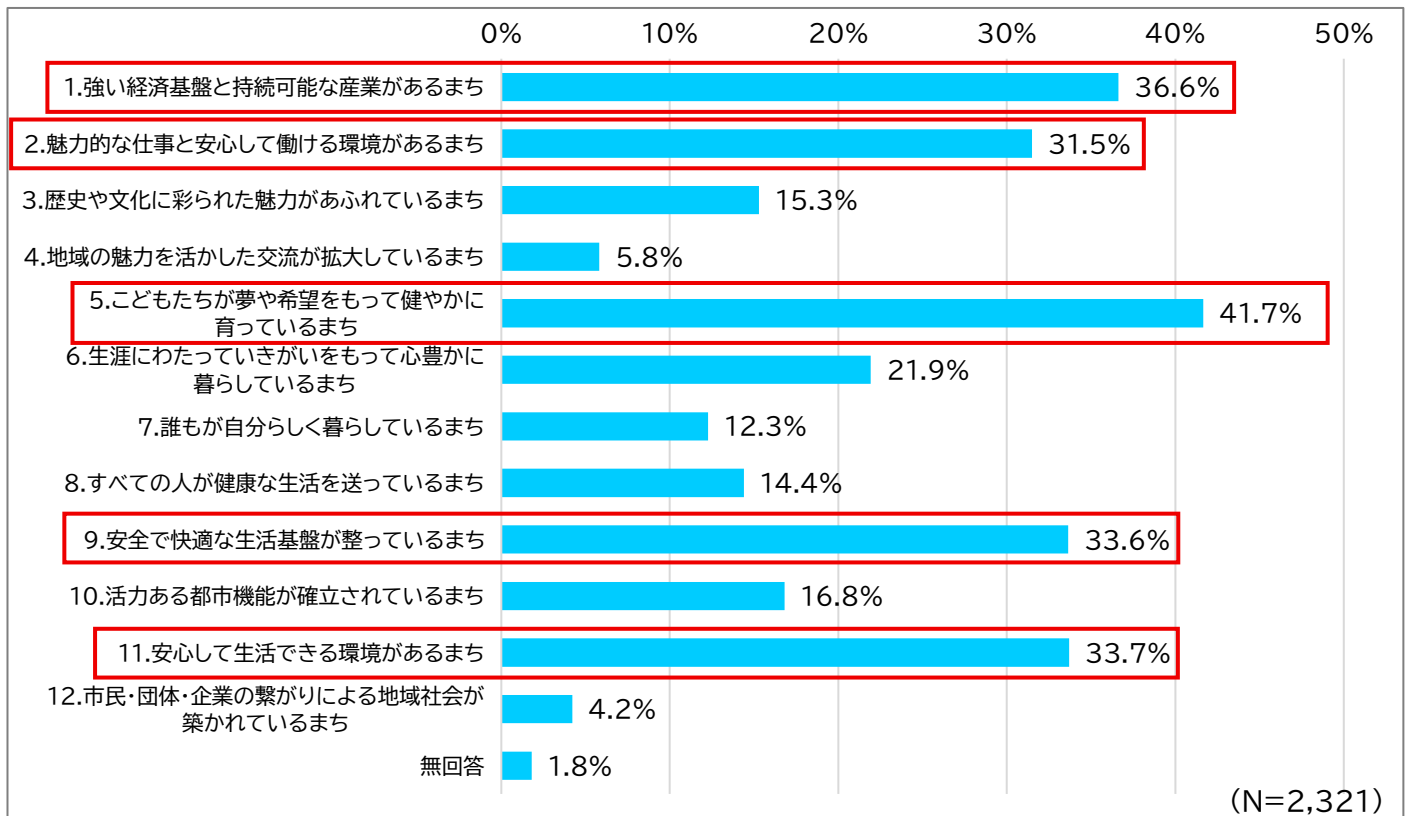
- 高岡市での継続居住意向については、「ずっと住みたい」または「どちらかといえば住みたい」が66.0%でした。
- 年齢別にみると、「ずっと住みたい」または「どちらかといえば住みたい」は、70歳以上が75.9%と全体の傾向と比べて多くなっています。また、20代において、「どちらともいえない」が多くなっています。



●高岡市では「住みたいまち 高岡」の実現のために、上記に示す 12 のめざすまちの姿を実現することが重要と考え、まちづくりに取り組むこととしています。

●現在の高岡市について、「思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答は、「3.「歴史や文化に彩られた魅力があふれているまち」である」が63.4%と最も多く、次いで、「11.「安心して生活できる環境があるまち」である」(44.0%)、「9.「安全で快適な生活基盤が整っているまち」である」(42.0%)でした。

●一方、「思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合わせた回答は、「10.「活力ある都市機能が確立されているまち」である」が43.6%と最も多く、次いで、「2.「魅力的な仕事と安心して働ける環境があるまち」である」(40.3%)、「4.「地域の魅力を活かした交流が拡大しているまち」である」(37.4%)でした。



- 特に力を入れて目指していくべきまちの姿は、「こどもたちが夢や希望をもって健やかに育っているまち」が41.7%で最も多く、次いで、「強い経済基盤と持続可能な産業があるまち」が36.6%、「安心して生活できる環境があるまち」が33.7%、「安全で快適な生活基盤が整っているまち」が33.6%、「魅力的な仕事と安心して働ける環境があるまち」が31.5%と続きます。
- 「こどもたちが夢や希望をもって健やかに育っているまち」については、全体の傾向と比べ、20～40代の回答が多くなっています。

4×5

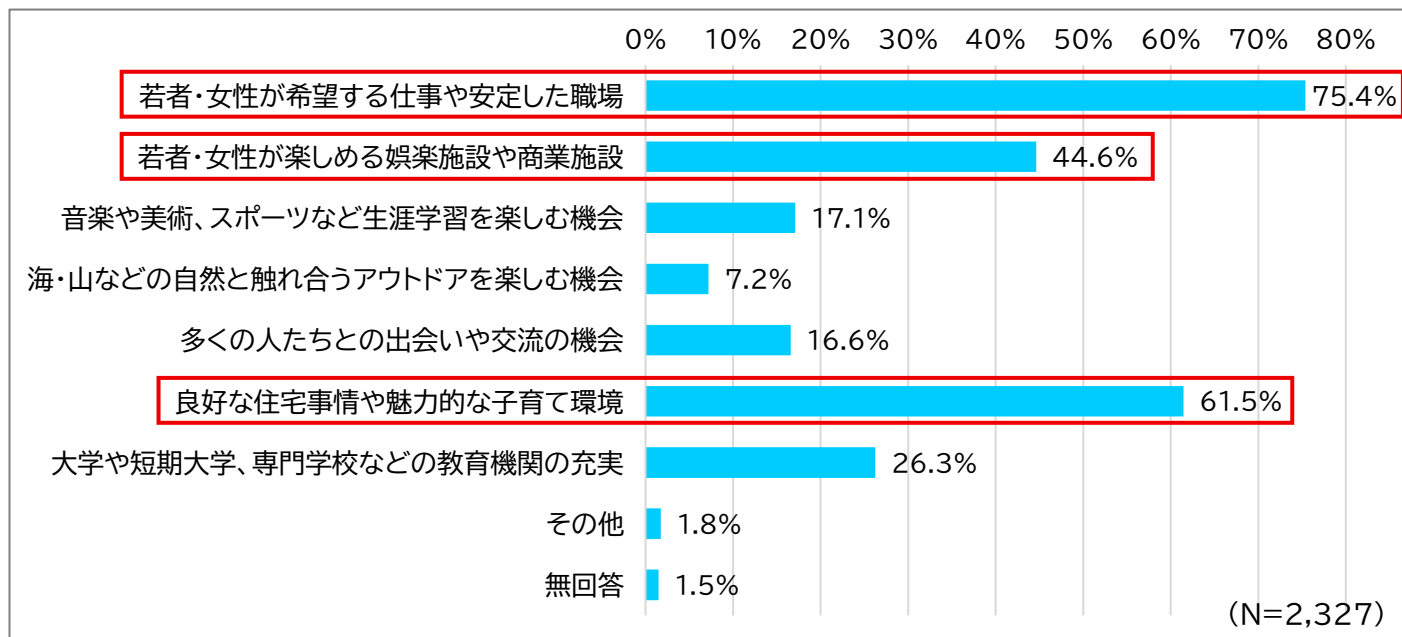
12のめざすまちの姿に対する評価×特に力を入れて目指すべきまちの姿

- 12のめざすまちの姿に対するこれまでの評価と今後力を入れて目指すべきまちの姿について、市民アンケートの結果を数値化し、これまでの満足度を横軸、重要度を縦軸にとり、その関係を図示しました。



6

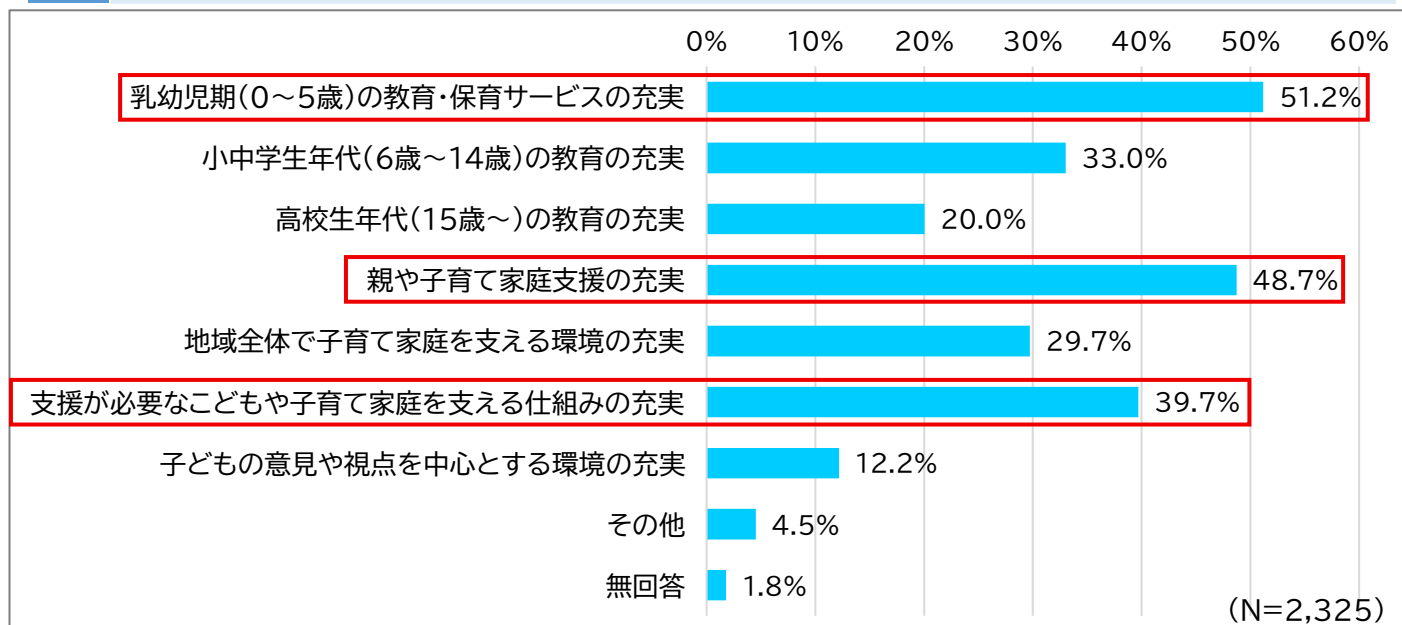
高岡市が女性・若者に選ばれるために重要なこと



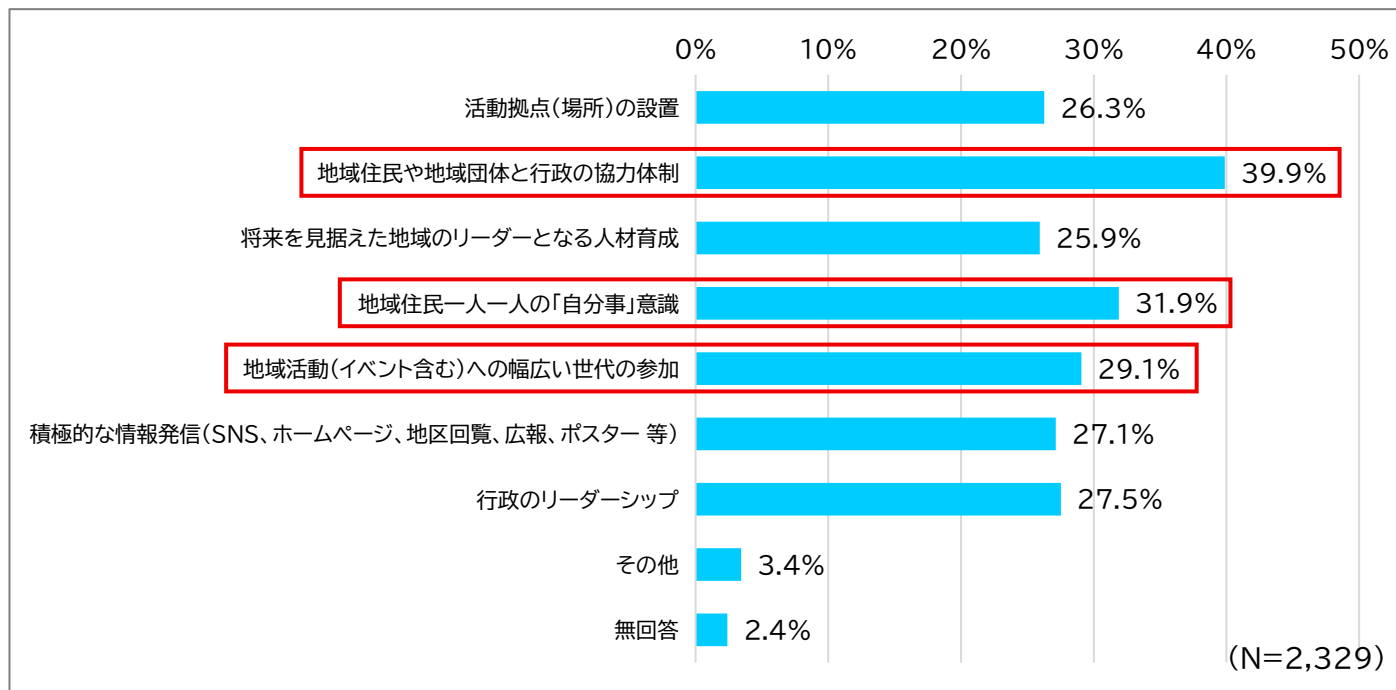
- 高岡市が若者・女性に選ばれるために重要なことは、「若者・女性が希望する仕事や安定した職場」が75.4%、「良好な住宅事情や魅力的な子育て環境」が61.5%と雇用・子育てに関する回答が多く、次いで、「若者・女性が楽しめる娯楽施設や商業施設」が44.6%でした。
- 年齢別にみると、20～30代で「若者・女性が楽しめる娯楽施設や商業施設」が全体の傾向と比べ、回答が多くなっています。

7

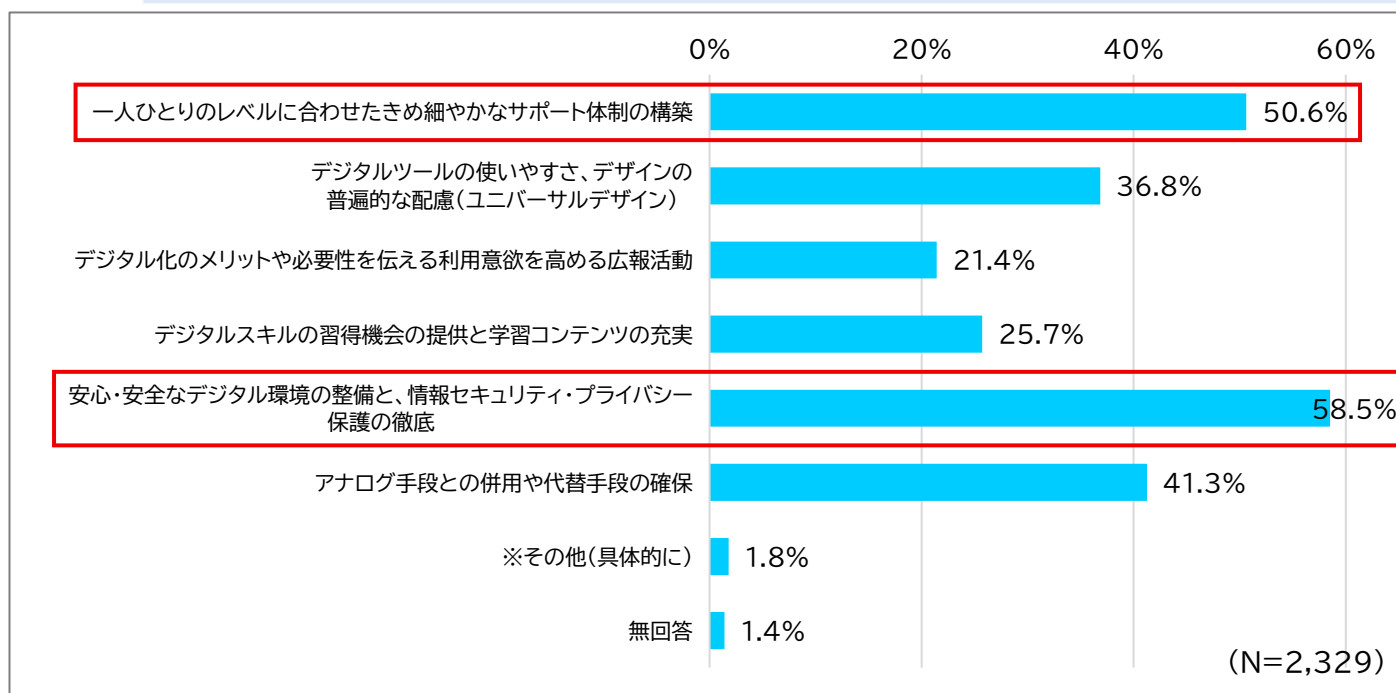
高岡市が安心して子どもを産み産み育てやすいまちであるために重要なこと



- 高岡市が安心して子どもを産み産み育てやすいまちであるために重要なことは、「乳幼児期(0～5歳)の教育・保育サービスの充実」が51.2%と最も多く、次いで、「親や子育て家庭支援の充実」が48.7%、「支援が必要な子どもや子育て家庭を支える仕組みの充実」が39.7%でした。
- 年齢別にみると、20～30代で「乳幼児期(0～5歳)の教育・保育サービスの充実」、30代で「小中学生年代(6歳～14歳)の教育の充実」が全体の傾向と比べ回答が多くなっています。



- コミュニティを活性化するために必要な取組は、「地域住民や地域団体と行政の協力体制」が39.9%と最も多く、次いで、「地域住民一人一人の「自分事」意識」が31.9%、「地域活動（イベント含む）への幅広い世代の参加」が29.1%でした。他の項目も25.0%程度と回答が分散しています。



- デジタル化を推進するために重要なことについては、「安心・安全なデジタル環境の整備と、情報セキュリティ・プライバシー保護の徹底」が58.5%と最も多く、次いで、「一人ひとりのレベルに合わせたきめ細やかなサポート体制の構築」が50.6%でした。
- 年齢別にみると、40代以下で「デジタルツールの使いやすさ、デザインの普遍的な配慮(ユニバーサルデザイン)」が、全体の傾向と比べ多くなっています。